

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成31年4月11日(2019.4.11)

【公開番号】特開2017-86749(P2017-86749A)

【公開日】平成29年5月25日(2017.5.25)

【年通号数】公開・登録公報2017-019

【出願番号】特願2015-223922(P2015-223922)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月28日(2019.2.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
未だ開始されていない可変表示に関する情報を保留情報として記憶する保留記憶手段と

、
前記保留記憶手段に記憶されている前記保留情報に対応した保留表示を行う保留表示手段と、を備え、

前記保留表示の表示態様には、通常態様と、当該通常態様とは異なる特殊態様と、前記通常態様及び前記特殊態様とは異なる態様であって前記有利状態になる割合を予告する複数段階ある予告態様と、があり、

前記保留表示の表示態様を、前記通常態様または前記特殊態様から前記複数段階ある予告態様のいずれかに変化可能な態様変化手段をさらに備え、

前記通常態様から前記予告態様に変化するときの方が、前記特殊態様から前記予告態様に変化するときよりも、高い段階の前記予告態様に変化しやすい

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

(1) 上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態(例えば大当たり遊技状態)に制御可能な遊技機(例えばパチンコ遊技機1)であって、

未だ開始されていない可変表示に関する情報を保留情報として記憶する保留記憶手段(例えば第1特図保留記憶部、第2特図保留記憶部)と、

前記保留記憶手段に記憶されている前記保留情報に対応した保留表示を行う保留表示手段(例えば第1保留表示部5H L、第2保留表示部5H R)と、を備え、

前記保留表示の表示態様には、通常態様と、当該通常態様とは異なる特殊態様(例えば「白」)と、前記通常態様及び前記特殊態様とは異なる態様であって前記有利状態になる

割合を予告する複数段階ある予告態様（例えば「青」、「緑」、「赤」）と、があり、前記保留表示の表示態様を、前記通常態様または前記特殊態様から前記複数段階ある予告態様のいずれかに変化可能な態様変化手段（例えばステップS503における決定に基づいてステップS513、S516を実行する演出制御用CPU120）をさらに備え、

前記通常態様から前記予告態様に変化するときの方が、前記特殊態様から前記予告態様に変化するときよりも、高い段階の前記予告態様に変化しやすい（例えば図20に示す表示態様変化パターン決定テーブルにおいて入賞時の表示態様が「通常態様」である場合は、「白」（特殊態様）である場合よりも、2段階変化する割合が高くなっている）ことを特徴とする。

このような構成によれば、意外性のある演出が可能となり、遊技の興趣が向上する。